


※注意：このシートは横浜市のホームページ等で公開されます。

No. 51

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

フリガナ	フジイ ショウコ	
氏名	藤井 祥子	
派遣希望区	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> () ()	

支援専門分野（注1）	支援専門分野の内容
ルール又はプランづくり等 <input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 建築協定 <input type="checkbox"/> 地区計画 <input type="checkbox"/> 地域まちづくりルール <input type="checkbox"/> 地域まちづくりプラン <input type="checkbox"/> 景観協定 <input type="checkbox"/> 景観計画 まち普請事業 その他 ()
市街地開発事業等	再開発 区画整理
防災まちづくり等	まちの不燃化推進事業 共同建替え 防災マップづくり 耐震改修 狭あい道路整備 防災広場整備
その他関心のあるテーマ	<input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 防犯 商店街活性化 水・緑 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 アート 地域交通 <input type="checkbox"/> 福祉 <input type="checkbox"/> 教育 その他 ()

※得意とする支援の内容・関心のあるテーマを丸印で囲んでください（複数回答可）。該当するものが無い場合は、その他の欄に記入してください。

所属するまちづくり支援団体	
---------------	--

※横浜市に登録されたまちづくり支援団体に所属している場合は、団体名を記入してください。

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。
	建築協定から地区計画への移行及び街並みガイドラインの作成	青葉区 美しが丘中部地区	平成 10 年 ～平成 28 年	三期約 30 年運用してきた建築協定から地区計画への移行を検討。長年運用してきた建築協定運営委員のノウハウや良いところを一般参加の検討委員と共有化できるよう検討委員会の組織を運営。建築協定の良さを地区計画移行に伴い損なわないようガイドラインを作成し、地区計画以降もアセス委員会の立ち上げ及び運営を随時支援してきた。横浜市コーディネーターとしての支援を超えた付き合いが今も続いている。
	地区計画変更及び景観協定の策定	町田市 しあわせ野東地区	平成 25 年 ～平成 28 年	農住区域土地区画整理事業とともに定められてきた地区計画の住民提案による地区計画変更の実現。当初、共同住宅の身しか建てられなかった地区に戸建て住宅も建てられるよう変更した。地区計画策定後も地域環境が保全されるよう併せて景観協定を立案締結支援と運営委員会の立ち上げ支援を行った。

（注1）支援分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門「分野」に関する支援の実績等	まちづくり条例に基づく地区まちづくりプランの策定	町田市 小田急金森泉地区	平成21年～ 平成26年	昭和60年に自治会で建築協約を定めて自主的に運用してきた戸建て住宅地。地区内に複数の地域地区があり、環境保全に向けては一部の住民意識に差があった。このため、当初地区計画策定を目指したが街づくりルールをより自治会活動と一体的に行うプランに近づけた計画を作り、まちづくり条例に基づく地区まちづくりプランの策定を支援し、その後の運営組織立ち上げのアドバイスを行った。
	良好な戸建て住宅地の環境を保全するための地区計画導入	川崎市 麻生区 日生百合ヶ丘地区	平成21年～ 平成24年	管理組合を持つ良好な住環境を持つ戸建て住宅地。建築協約を定めていたが、効果的な運用の継続が困難となり、地区計画導入の検討を開始した。合意形成に向けた資料作成・アドバイス・アンケート分析等を支援する中、合意形成が行き詰まりかけた際、地区計画方針と地区整備計画の区域を調整するアイデアを提案。最終的に全域を地区計画区域に組み込むことに成功した。
	伝建地区内の防災計画等策定支援	川越市一番街 ほか	平成27年～ 平成28年 (予定)	伝統的な建築物が持つ構造特性を踏まえて、気地区基準法の緩和策を整理した基準作りを検討中。併せて、近年増加する観光客を有事にも安全に避難・誘導することが出来るような地域の防災活動の取り組みを支援している。
	高齢者による地域まちづくり活動支援	全国	平成25年～ 平成27年	国立開発研究法人建築研究所の皆さまとともに、地域で取り組む高齢者の居場所づくりや加齢とともに生活行動が変化する実態等の調査を行いながら、高齢者自身が担い手となって地域活動を支える仕組みや、活動に縁のなかった人々を巻き込むために必要なこと等について分析・研究を行っています。

まちづくりに関するPR

- 地区のまちづくり支援活動支援について幅広く取り組んできました。青葉美しが丘中部地区とは20年近いお付き合いになります。
- 近年は高齢者の地域活動参加について、心理学的アプローチから分析する業務等にもかかわった経験を活かし、研究理論と実践のバランスに配慮しながら地域で生き生きと安心して暮らし続けることが出来るコミュニティづくりをお手伝いしたいと考えています。
- まちづくりは時代とともにあるものだと考えています。20年前には「これが最適」だと思って定めた建築協定や地区計画についても見直しの必要などはありませんか？
住民参加で定めた地区計画を変更することは大変でしたが、その必要性を各方面に伝えて実現してきた経験があります。同じような悩みを抱えている皆さんとともに一緒に考えていきたいと思っています。